

市政一般質問発言通告書（会派代表・**個人**）

令和 7 年 5 月 30 日

多治見市議会議長 様



会派名 新 生 自 民

17 番議員 氏 名 林 美行

質問題名	第 8 次総合計画——持続可能で希望ある未来に向けた見直しの必要性
質問要旨	総合計画は、市の将来ビジョンに基づいて「理想のまちづくり」を実現するための重要な指針です。単なる行政の計画をまとめたものではなく、市民の暮らしや地域の魅力を高めるための羅針盤であるべきです。 現在、地方創生計画が 10 年の見直しを迎え、国は「地方創生 2.0」に基づく 5 本の柱を提示しています。これにより、今後 10 年間のまちづくりの方向性が大きく変わる可能性があります。こうした新たな動きに対し、今の総合計画の方針がどこまで対応できるのか、前向きな見直しが求められる時期にきています。 また、財政環境の急速な変化や複雑化する地域課題に対しても、しなやかに対応できる柔軟で未来志向の総合計画が必要です。これまでの取り組みをふまえつつ、さらなる進化と改善を図る好機と捉えています。
質問項目①	新たな地方創生 2.0 の基本構想を踏まえ、本市の総合計画はどのように対応・連携を進めていくのか。
質問項目②	急速に変化する財政環境に対応するために、柔軟で持続可能な計画のあり方についてどのように取り組むか。
質問項目③	人口推計で 10 万人を下回る可能性を見据えた上で、今後さらにどのような人口減少対策を講じていくのか。
質問項目④	養正幼稚園の統合について、市民や地域の歴史・文化を尊重しながら、どのような背景と未来像を持って進めているのか。

質問項目⑤	大学誘致や修道院の利活用など、本市の将来に資するプロジェクトと総合計画の整合性について。
質問の相手方	市長・企画部長・子ども健康部長